



2023 年 6 月 28 日

たてくろジオパーク だより 第 59 号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町 5-5 タワー 1 1 1 ビル 1 階

MAIL: info@tatekuro.jp HP: <https://tatekuro.jp/>

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204



<https://facebook.com/tatekuro>

☆立山黒部ジオパーク 令和 5 年度 定時総会 開催

6 月 3 日（土）に、令和 5 年度一般社団法人立山黒部ジオパーク協会の定時総会並びに講演会を入善まちなか交流施設うるおい館で開催しました。

総会では、令和 4 年度の事業・会計報告、並びに令和 5 年度の事業・予算案と役員選任議案、第 3 期基本計画の提案に対し、会員の皆様のご承認をいただくことができました。ありがとうございました。

総会の後には、日本ジオツーリズム協会副会長、グローバルネイチャークラブ ガイド、伊豆大島ジオパークジオガイドの会副会長の西谷香奈氏を講師に迎えて講演会を行いました。「ジオパークが地域にもたらしたもの～活火山の島のジオガイドの目線～」と題して、①伊豆大島はどんなところ？ ②伊豆大島ジオパーク活動のあゆみ ③ジオツアーで地域は潤うか？ ④ジオパークの楽しさを伝えるためにしていること の 4 項目について、お話しされました。水が豊富な立山黒部ジオパークと比べて、伊豆大島には川がないこと、ひとたび噴火すると多くのものを失うことなど、活火山の島ならではのご苦労と、その中での活躍の様子を聴くことができました。

また、講演会終了後には、講師のご希望で、立山黒部ジオパークのジオガイドと意見交換会を行っていただきました。伊豆大島ジオパークガイドの皆さんのご苦労を知るとともに、立山黒部ジオパークの自然の素晴らしさを改めて実感することができました。



8 月のジオパーク散歩（7 月中旬募集開始！）

第 8 回 「水と親しむジオパーク散歩」

〈常願寺川の治水・利水（住みよい暮らしを作る）〉

- ・日 時 8 月 20 日（日） 9:30～12:00
- ・集合場所 本宮堰堤駐車場（小見小学校側）
- ・見学場所 本宮堰堤～横江頭首工～両岸分水工 など
- ・申込期限 8 月 15 日（火）

第 9 回 「ジオパーク散歩 in 称名滝」

〈落差日本一の称名滝はどうして誕生したのか〉

- ・日 時 8 月 22 日（火） 10:00～12:00
- ・集合場所 称名平休憩所前（称名滝駐車場最上部）
- ・見学場所 称名平～悪城の壁展望台～称名滝展望台
- ・申込期限 8 月 17 日（木）

第 10 回 「ジオパーク散歩 in 大岩山日石寺」

〈凝灰岩の巨石に彫られた「不動明王磨崖仏」を訪ねる〉

- ・日 時 8 月 30 日（水） 10:00～12:00
- ・集合場所 大岩山日石寺の上側駐車場（受付 9:30～）
- ・見学場所 大岩山日石寺（不動明王磨崖仏、六本滝、夫婦岩ほか）～千巖溪
- ・申込期限 8 月 25 日（金）



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



5/24 ジオパーク散歩 in 滑川

5月24日にジオパーク散歩 in 滑川を開催しました。穏やかな青空のもと滑川市内を散策しました。滑川市役所集合後、神明山 徳城寺に向かいました。徳城寺では、住職さんから境内を案内していただき、市指定文化財の梵鐘や、同じく市指定文化財になっている釈迦三尊軸など貴重な品々を見学しました。また、敷地内には、松尾芭蕉の句碑有機塚が建立されています。その後、旧北陸街道を進みました。途中には、数多くの「なめりかわ宿場回廊」の看板が設置されていて、初めてこの地を訪れる方でも楽しめる工夫がされています。その後、藤谷山養照寺を訪れました。養照寺では、市指定文化財の「養照寺上段の間」などを見学しました。この上段の間は、大名を通した最高級の部屋で、周りより一段高くなっていることから名づけられました。広さは十畳敷き、柱は黒部の奥山から運んだ「ねずこ」という材木が使用されているそうです。その後、滑川市役所に戻り、参加者がお互いに感想を述べた後、解散しました。参加者からは、「地元に住んでいても気づかないことを知れてよかった」や、「普段は車でしか通らないが、歩くことで新しい発見ができてよかった」などの意見がありました。

※7月のジオパーク散歩は、好評につき定員に達しました。ありがとうございました。



6/11 称名滝ジオパーク散歩

6月11日に称名滝でのジオパーク散歩を行いました。天候は、あいにくの雨でしたが、称名平休憩所から称名滝に向かって歩きました。遊歩道は天候のせいか、人通りはまばらでした。所々立ち止まり、ジオガイドから草花や景色について説明を受けながら進み、40分ほどで展望台に到着しました。雨の影響もあってか、滝の水量は多く、迫力ある景色を楽しむことができました。その後、一行は、来た道に戻り、称名平休憩所で解散しました。今回は、6月上旬の開催に加え、雨の影響もあってハンノキ滝もはっきりと見る事ができました。季節によってその姿を変える称名滝に足を運んでみてはいかがでしょうか。



6/14 美女平ジオパーク散歩

6月14日に美女平ジオパーク散歩を行いました。美女平駅で美女杉の説明を受けた後、散策コースに向かいました。厚い雲に覆われた天候で、直前まで降っていた雨の影響で、地面は少し滑りやすくなっていました。散策コースに入って早々は、高低差のある階段などがありましたが、徐々に歩きやすい道になっていきました。コース内には、いくつもの巨木があり、自然の偉大さを感じました。特に、「子育て杉」は、途中でふたつに分かれ、その間に広葉樹（タカノツメ）が生えていました。自然の不思議さと面白さを感じる瞬間でした。途中には、鳥のさえずりも聞こえ、癒しのひとときを味わえます。約1時間半の散策を終え、美女平駅で解散しました。参加者からは、「また来たい」と、うれしい感想をいただきました。



6/14,17 ジオガイド スキルアップ研修

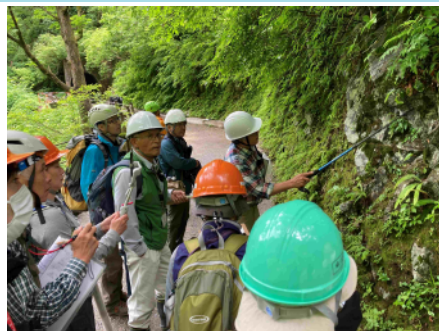
6月14日と17日に富山市科学博物館の増渕佳子氏を講師に迎え、ジオガイドスキルアップ研修を行いました。14日は、石について学ぶ講義がありました。講師からは、石を学ぶことで、地層を読み解く第一歩になることや、自然を見る新しい視点が得られることで、ガイドとしての話の幅が広がることなどを学びました。また、それぞれの岩石の特徴についても教えていただきました。

17日は現地研修を実施しました。立山橋付近の常願寺川流域で行った現地研修は、常願寺川でみられる10種類の石を探しました。常願寺川でみられる石は、安山岩・流紋岩・花崗岩・閃緑岩・れき岩・砂岩・泥岩・溶結凝灰岩・片麻岩・昌質石灰岩です。参加者は講師からいただいた図鑑を参考に、河原で石を探し、約1時間で数多くの石を発見することができました。その後、富山市西番にある「正源寺の鳴龍」で有名な正源寺に向かいました。富山藩第10代藩主前田利保が常願寺川の反乱を防ぐために寺の天井に絵師山下守胤に描かせたもので、伝承では常願寺川が氾濫するときに自ら鳴いて住民に危機を知らせたと伝わっています。参加者も実際にこの天井の下から手をたたき、音が振動することを体験しました。



6/15 樺平での原山名誉教授との巡検

6月15日、新緑の中、立山連峰の中央に位置する黒部川の樺平から祖母谷川沿いの世界一若い黒部川花崗岩を中心とする岩石について、巡検を行いました。講師は、原山智信州大学名誉教授でした。北アルプスを1000日以上調査された方でブラタモリでもおなじみの方です！改めて岩石の面白さを体験する機会となりました！



黒部市小学校ジオパーク体験学習の事前学習

6月9日から黒部市内の小学校で、黒部峡谷鉄道のトロッコ電車を使って黒部峡谷を学ぶジオパーク体験学習が始まりました。昨年度から、希望の学校に専門員が伺い事前学習を行っています。6月5日は、たかせ小学校と石田小学校で、15日は若栗小学校で事前学習を行いました。事前に黒部峡谷のことを学んで、当日のジオパーク体験学習を楽しむポイントを増やしてほしいという思いで行っています。児童たちは話を興味深く聞いてくれました。今年度は、子供たちがどんなことをどのように学んでいるか、何に興味をもっていそうかを見てもらおうとジオガイドに参観していただきました。



上市町小学校ふるさと学習

6月20日から22日の間、上市町立相ノ木小学校を拠点として、上市町ふるさと学習が開催されました。上市町のすべての小学校が、ふるさと上市町の自然や歴史について学ぶというものです。午前中は「大地のつくりと変化」の内容で「上市町の地層と化石」というテーマで学習しました。協会の専門員からスライドショーを使った説明を聞き、地層づくりの実験に取り組み、片地の貝化石の観察をしました。その後はバスで移動して、稲村露頭での現地学習です。児童たちは、稲村露頭のダイナミックさやスランプ構造をつくる自然の不思議さや力強さに感動していたようです。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



6/6,15,22 サイトモニタリングを行いました！

先月に続いて、サイトモニタリングを行いました。今回は、入善町と黒部市、魚津市、上市町のサイトを巡回しました。6/6に「じょうべのま遺跡」「杉沢の沢スギ（入善沖海底林）」「高瀬湧水の庭」「園家湧水の庭」「荒俣海岸」「生地名水公園の清水」「沓掛の水神碑」「東山円筒分水槽」と6/15に「樺平」「名剣温泉」、6/22に「下田金山跡」の11カ所を巡回しました。



じょうべのま遺跡



杉沢の沢スギ



入善沖海底林



高瀬湧水の庭



園家湧水の庭



荒俣海岸



生地名水公園の清水



沓掛の水神碑



東山円筒分水槽



樺平



名剣温泉



下田金山跡

■ たてくろ 見どころ紹介コーナー

五厘堤 一急流早月川の氾濫から人々を守り続けた堤防（滑川市：片貝川・早月川エリア）

明治時代に早月川左岸滑川市大浦地区に建設された石堤で、勾配が五厘であることから名付けられました。オランダ人技師ヨハネス・デ・レーケの指導による築堤と言われています。河原から直径1m近くの石をトロッコで運び、約200mにわたって高さ3～5m、上部の幅約7mに積み重ねて築いたものです。「勾配が五厘」とは、高さ1に対し底部の水平長0.05（五厘）の勾配という意味で、ほとんど垂直に近い斜面です。

五厘堤は築堤から約130年ですが、ほぼ当時の姿のままで現在も滑川市街地を水害から守っています。積み重ねられた一つ一つの石は北アルプスの山々から運ばれてきたもので、石の丸みに気の遠くなるほどの長い年月と温か味を感じます。

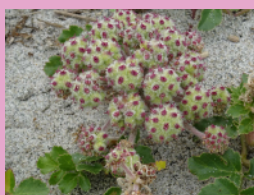
五厘堤は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=90>



<編集後記>

今回が2回目となったサイトモニタリング。実際に現地へ行ってみると、事務所にいては分からないことがたくさんあることに気づきます。今回、最も印象に残ったのは「荒俣海岸」でした。誰もいない草ぼうぼうの浜辺に入ったとたん、花のいい匂いがしました。どの植物だろうと探してみると、下の写真の花が浜辺いっぱい咲いていました。見たこともない花なので帰ってから調べたところ、「ハマボウフウ」と呼ばれる植物でした。たった一人でモニタリングをしている私に芳香のご褒美をくれたような気がしてちょっとうれしくなりました。



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

